

咸宜園門人数別調

大分県日田市淡窓会編

国名	県名	人数
豊後	大分	一、二八五
豊前	福岡	五七四
筑後	福岡	五五六
肥前	佐賀	四七二
筑前	福岡	二五七
肥後	熊本	二〇七
長門	山口	一五四
伊津	大分	一三七
安芸	広島	九七
周防	山口	七一
日向	宮崎	六一
伊豫	愛媛	五五
備前	備前	五五
加賀	石川	五三
美濃	岐阜	三七
越前	福井	三五
備後	広島	三五
山城	京都	三四
阿波	徳島	二七
出雲	島根	二七
武蔵	埼玉	二六
和泉	大阪	二五
石見	島根	二四
近江	滋賀	二四
三河	愛知	二〇
備後	岡山	一九
尾張	愛知	一八
河内	大阪	一八
飛騨	岐阜	一六
紀伊	和歌山	一六
讃岐	香川	一四
越中	富山	一三
備前	岡山	一三
士佐	高知	一一
陸奥	福井	一一
丹後	京都	一〇
能登	石川	九
信濃	長野	九
伊勢	三重	九
薩摩	鹿児島	八
越後	新潟	七
出羽	秋田	七
相模	神奈川	六
沓岐	長崎	五
対馬	長崎	五
因幡	鳥取	五
大和	奈良	五
遠江	静岡	四
丹波	兵庫	四
但馬	京都	三
佐渡	新潟	三
下総	千葉	三
若狭	福井	二
伊豆	静岡	二
上野	群馬	二
淡路	兵庫	二
美作	岡山	二
伯耆	鳥取	二
常陸	茨城	二
駿河	静岡	二
伊賀	三重	二
上総	千葉	二
志摩	三重	二
安房	千葉	二
甲斐	山梨	二

咸宜園門人数別調

◆

陸奥の十一人は、陸奥・陸前・陸中・磐城・岩代をふくむ、今の青森・岩手・福島・宮城の諸県

◆

出羽の七人は羽前・羽後、今日の秋田・山形の二県

◆

一人も入門者なき国は大隅国（鹿児島）下野国（栃木県）隠岐国（島根県）の三國

◆

当時日本六十八ヶ国のうち六十五ヶ国にわたり門人総数四六一八

◆

此表は、当時のまま進されてきた咸宜園入門簿によるものである。入門簿は塾則により、入門の際、入門の年月日・姓名・年令・国別在所名・紹介者等を白書（一人半枚宛）させられたもので、開塾の初めから淡窓（五十五冊）加莊（八冊）青村（八冊）林外（十一冊）広瀬濠田（四冊）諫山菖村（四冊）勝義講師（二冊）と歴代諸先生の時代と年次を追い全九十一冊四六一八の門人は、ことごとく此のうちにのせられている

◆

ただし他に入門簿の破損亡失したものや名のもれたものがあるので、これを加えると門人総数は優に五千人を越えたものと思はれる

◆

今日の県でみると

①大分県

豊後 一、二八五
筑後 二五五六
豊前 三一六
下毛、宇佐郡 二五九

②福岡県

筑後 二五五六
筑前 二五九

③長崎県

肥前 四七二
肥後 五五

④山口県

長門 一五四
周防 七一

⑤熊本県 肥後

二〇七

⑥大阪府

摂津 一三七
河内 二一八
和泉 二五八

大分県では

日田郡 七〇一

下毛郡 二三七

大分郡 三一六

玖珠郡 一一二

海部郡 五七

宇佐郡 七五

直入郡 三八

国東郡 二二

大野郡 二一

郡別不詳 六

備考

別項動向欄「教聖広淡窓の壹百年祭と門下生の慰霊祭」を参照されたい。（立川）

伝説の川太郎とかつばく（その二）

山 本 入 山

平家にあらずんば人にあらずとまで豪語して三十余国、五百余ヶ所の莊園を領し専横の限りを尽した一門が、栄華の夢も二十年哀れ埴の浦の一戦に潰えてより、遂には平家がにを以てその妄執の姿に擬せられようとは。

思ひきや深山の奥にすまいして

雲井の月をよそに見んとは。

庵室に三体の来迎仏を安置して一門の人々の冥福を祈らせ給う女院をはじめ、落人となつてきびしい源氏の詮索からのがれ得た人々も、その末路はまことにはかないものがあつた。